

数学科（数学A）学習指導案					
学級	3年C組（Ⅱ講座）	教室	3-C教室	指導者	真田 幸治
単元	1章 順列と組合せ		教科書	高校数学A（実教出版）	
指導目標	1 部分集合や全体集合と補集合、共通部分と和集合をベン図を用いて理解させる。		指導計画	1 集合と要素 …… 3時間	
	2 和の法則と積の法則を用いて場合の数を求めさせる。			2 和の法則と積の法則 …… 1時間	
3 順列と組合せの意味を理解し、使い分けを行い総数を求めさせる。				3 順列 …… 5時間	
				4 組合せ …… 4時間	
				5 課題学習 …… 1時間 (本時)	
主題	順列と組合せを利用した課題学習				
目標	1 順列と組合せの考え方とコンピュータを利用して、容易に最適な解を導き出すことができることを理解させる。				
目標	2 日常生活の事象を数学的に考えることの有効性について、興味・関心を持たせる。				
課題	順列と組合せの復習をしておく。				
本時の指導過程	学習内容		時間	指導上の留意点	資料・評価の観点等
	導入	1 本時の目標を確認する。	5	・数学的に考えることの有効性について学習することを意識させる。	
	展開	1 アトラクション選びの問題をする。 (1) 何通りあるか求める。  (2) 樹形図を利用し、全ての場合を求める。	10	・辞書式で漏れなく考えさせる。	・資料プリント  ・樹形図を利用し、全ての場合を求めようとしている。 <関心・意欲・態度>
		2 料金の最適な解を求める。 (1) 電卓を利用する。  (2) コンピュータを利用する。	15	・全ての場合が出現していることを理解させる。	・全ての場合を抜き出すことと、最適な解を求めることを関連づけて考察することができる。
		3 時間も含めた最適な解を求める。	15	・複数の条件のとき、更に有効であることに気付かせる。	<数学的な見方や考え方>
整理	1 本時の学習内容を確認する。  2 次時の内容を確認する。	5	・日常生活の事象を数学的に考えることの有効性を再確認させる。		
備考	学科（商業科）類型（B型） 生徒数10名（男子3名、女子7名）				